

# あさる

♪ VOICE OF THE FOREST



No.17  
-2017.4-

## こんにちは! 図書館です

P.1-2 あなたのレポート大丈夫?

レポート作成セミナーに参加しよう

P.3-4 新入生に薦める本

P.5 大型資料の紹介

P.6 めでいもりReport

P.7 めでいもりInformation



H28年度 レポート作成セミナー 中央館 風景

# レポート作成セミナー に参加しよう!



あなたのレポート  
大丈夫?

大学生になって授業を受けてまず戸惑うのはレポート課題ではないでしょうか?

レポートはこれまで皆さんが書いてきた作文や感想文とは異なります。作文や感想文が自分の感じたこと思ったことを書くのに対して自分の考えを裏付け「根拠」を示しながら、客観的に主張する必要があります。この「根拠」とは自身が行った実験や調査によるデータや「先行研究」によるデータや見解になります。図書館はこのレポートを書くための材料探しに役立ちます。これからの大学生活、図書館を単に勉強する場所、読書をする場所としてだけでなく、レポート作成の資料探しに活用しましょう。

レポートは「根拠」さえあればいいというものではありません。一定の形式で作成する必要があります。図書館では学生総合支援センターのご協力によりレポート作成セミナーを開催します。レポート作成に不安がある方はぜひ受講しましょう。

大学生学びのハンドブック

—勉強法がよくわかる!—3訂版 世界思想社 2015より

## レポートのルール

- ①「主張」と「根拠」を示す
- ②「序論」「本論」「結論」の3部構成で組み立てる
- ③「先行研究」をふまえる
- ④決まった形式を守る

## レポート作成の手順は次のとおりです

- ①何を取り上げるかを定める
- ②「先行研究」・「データ」を集める
- ③疑問や発見から「問い」をたてる
- ④「問い」の答えとなる「主張」を予想する
- ⑤「主張」を裏付ける「根拠」を集め、主張を決定する
- ⑥レポートの構成を考える
- ⑦執筆・文章のチェックをする
- ⑧提出前の確認

## 平成29年度レポート作成セミナー

少人数(1クラス定員20名)で  
レポート作成の基礎について学びます。

- 場 所：メディアの森(中央館)  
2Fブラウジングコーナー
- 日 時：水曜13:10~14:40(3時限目)  
14:50~16:20(4時限目)  
(※同じ内容で2回行います。)

1年生は  
学部ごとに開催

### セミナーの特徴

- ★6月28日以降は、学部指定の開催日に出席できなかった1年生、2年生以上の学生が対象となります(この期間はレポート作成相談会も開催します)。
- ★アカデミック・ライティングの基礎(要約の仕方・レポートの構成と書式)を学びます。
- ★初年次必修科目「大学基礎論」でも日時のアナウンスがあります。

### 最新の情報について

KULAS(トップページ)の「お知らせ一覧」や図書館および学生支援課の掲示板等で確認するようにしてください。



対象学部	セミナー開催日
人文社会科学部	5月10日
教育学部	5月17日
理工学部	5月24日
農林海洋科学部	6月5日(月・3限)
	6月9日(金・2限)
地域協働学部	6月14日
土佐さきがけプログラム	6月21日
学部・学年指定なし	6月28日、7月5日、12日、19日、26日
医学部	5月31日(5限のみ) ※定員:40名 場所:看護学科棟第1講義室

### 【事前申込のお願い】

座席確保のため事前申込をお願いしています。  
受付場所:メディアの森(図書館)1F総合案内  
医学部学生課教務係(医学部開催分)  
受付期限:セミナー前日の17:00

※受講者が定員を上回った場合は、他の時間での受講をお願いしたり、抽選を行ったりする場合がありますので、ご注意ください。

## 学生総合支援センターから 新入生の皆さんへ

ご入学おめでとうございます。そして、高知大学へようこそ！入学式、オリエンテーション、履修登録など、たいへん忙しい日々をお過ごしのことと思います。同時に、いろいろな困りごとが発生しているのではないのでしょうか。

何か困りごとが生じたときは、どうか一人で抱え込まずに、ボランティアの学生スタッフの方々や、学務課(授業や履修の仕方に関すること)、学生支援課(奨学金、授業料免除、課外活動、寮生活など生活に関すること、就職に関すること)、学生何でも相談室(本当に何でも相談に乗ってくれます!)など、大学における皆さんの修学と生活を支援する部署の専門スタッフの方々に、遠慮なく相談してください(学務課は共通教育棟1号館の2階、学生支援課・学生何でも相談室は同じ建物の1階にあります)。

各種登録や手続きが一通り終わると、いよいよ本格的に授業が始まります。すると今度は、大学での勉強の仕方や課題への取り組み方、特に、レポートの書き方やプレゼンテーションの仕方、ハンドアウト(レジュメ)の書き方などの面で困りごとが生じるかもしれません。そんなときはぜひ、学生総合支援センター修学支援ユニットの「学習相談室」にご相談ください(共通教育棟1号館1階の「からふるパレット」にお越しください)。

皆さんが明るい気持ちで大学生活を始められますように、また高知大学での学びが実り多きものとなりますよう、お力になれば幸いです。



学生総合支援センター  
修学支援ユニット  
専任教員 坂本 智香

大学生に求められる

## スタディ・スキルをご存じですか？

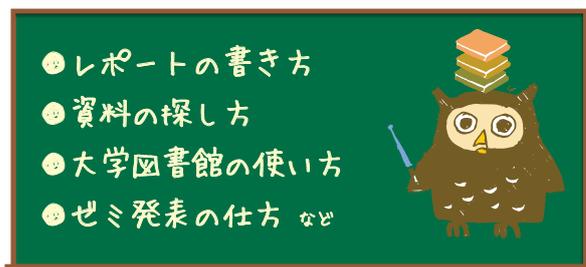
### ●ノートのとり方

高校までは板書、大学では話すことを中心に授業が進められます(事前にレジュメを配付する場合があります)。そのため、先生の話その場で大まかに理解し、自分でポイントを見つけてノートに書き留めていく力が求められます。特に大事なポイントは強調されたり繰り返し言われたりしますので(いちいち「ここが重要」と知らせてはくれません)、先生の話をよく聞き素早くメモしましょう。

### ●学術的な文章の読み方

まず本の「はじめに」と「おわりに」(論文の場合は序論と結論および論文要旨)に目を通し、扱っているテーマ、なぜそのテーマなのか、筆者の主張と根拠は何であるのかを大まかに把握しましょう。あわせてタイトルや目次にも目を通すと、テーマ・主張や本の構成(話の流れ)の理解がさらに深まります。そしてまずは下読み(難しい語句を調べるのは後回し)、「だいたいどんな話か」・「筆者はどんな立場か」などをつかみましょう。次は精読です。「序論(背景説明・主張の予告)→本論(主張の根拠)→結論(主張の確認)」という構成を意識しながら、ていねいに読みましょう。

大学では上に挙げたものの他に、以下のようなスタディ・スキルも求められます。



レポート作成セミナー・相談会、図書館利用ガイダンスや文献検索相談会、初年次必修科目(大学基礎論、学問基礎論等)を積極的に利用して身につけていきましょう。

## かんたんまにゅある アカデミック・ライティングの基礎シリーズ

レポートの作成の仕方などについて簡単で分かりやすい小冊子を発行します。以下の内容で順次シリーズ化し、図書館等で配布する予定です。ご自由にお取りいただけます。

### 今後のラインナップ(予定)

- 学術的な文章の読み方
- 文章の要約の仕方
- レポートの構成の考え方
- 引用の仕方
- 参考文献の書き方 など



## 道は開ける

デール・カーネギー 著  
創元社

原題はHow to stop worrying and start living(悩むことをやめて生活を始める方法)です。1948年に出版されて以来、「人を動かす」(How to win friends and influence people, 1936年)とともに名著として常にベストセラーの上位にある書籍です。学生は、試験のことや将来のことなど不安に

感じることもあるかと思います。少子高齢化社会にあつて経済的にも不安定な現代は特に悩みを持つ人が多いと感じます。この本は、そんな悩める人々に生きる意欲を与える書籍です。貧しく苦勞した著者が生きていく上で学んだ事柄が心に響くものと思います。

中央館 A4開架 159/Mit  
医学部分館 2F書架(一般) 159/カ

推薦者  
医学部分館長  
由利 和也



僕は大学1年生の時にこの本に出会いました。初読のときに「こんな面白いことを考えつく人がいるなんて!」と強い衝撃を受け、読み進めていくたび世界が塗り替えられるよう感じました。以来、折に触れ読み返し、僕の考え方を形成する太い補助線になっています。音素・言葉・婚姻・親族・贈与・通貨・分業・経済・神話。一見別々にみえるこれらが、「構造主義」なる枠組みにおいては「交換」という中心概念の元で見事に統一的に説明されていきます。なおこの本はタイトルに「はじめての」とつくように、著者が実際に語りかけるような分かりやすい文章で書かれています。是非手に取ってみてください。

知識は消費物ではありません。あなたがそれを受け入れることであなたの価値観は確実に変化し、あなたという器そのものが大きく変容していきます。大学生は子供から大人へ変革する時期です。よい知識を身につけ、よい大人になられますよう。経験上、大学も良書もその一助となると思います。

推薦者  
理学部教員  
加藤 治一

## はじめての構造主義

橋爪大三郎 著  
講談社現代新書

はじめての構造主義  
橋爪大三郎

現代思想の根本を  
あざやかに解き明かす  
必読の名著

## 新入生に

中央館 A2ブラウジング  
講談社現代新書/898

推薦者  
教育学部教員  
遠藤 尚

## バナナの世界史 歴史を変えた果物の数奇な運命

ダン・コッペル著(黒川由美 訳)  
太田出版

一房200円以下で手に入り、お腹に溜まるバナナは、大学時代から懐具合が寂しい時の私の強い味方です。同時に、スーパーで買うバナナは、いつでも同じような色、大きさ、味で、良くも悪くも変化が少なく、私たちの注意をあまり引きません。ところが、私がフィールドワークで訪れたインドネシアでは、驚く程、色や形、味の違う多様なバナナワールドが展開していました。

この本では、そんなバナナの意外と重たい過去と現在、未来について、分かりやすく

中央館 A3開架 625.81/Ban

紹介されており、先進国の店先に並ぶバナナの背景について知ることができます。読後は一房100円のバナナの味が、値段の何倍にも深まることでしょう。そして、学問の種、研究の種は、スーパーに並ぶバナナのように、当たり前だと思っている物や事象に、疑問の目を向けることから芽吹いていきます。

新入生はもちろん、在校生の皆さんにも、是非この本をきっかけに、何気ない日常に向ける目を刷新してもらえればと思います。



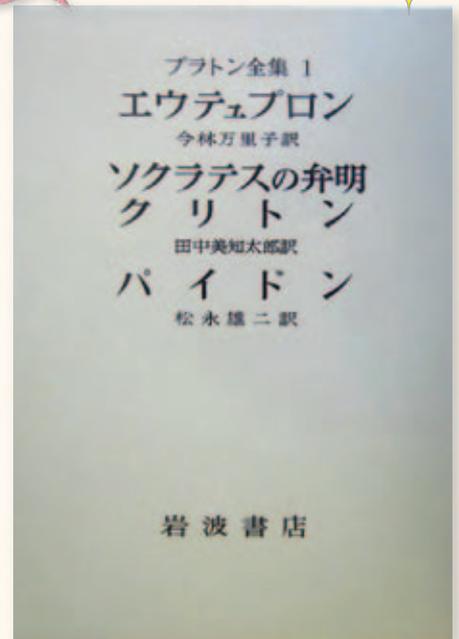
『プラトン全集』第1巻  
 (『ソクラテスの弁明』『パイドン』他)

あの有名なソクラテスは、ブッダやイエスのように一文字も書き残しませんでした。彼の思想は、弟子プラトンらによって文字に記され、二千年以上の後に託されたのです。古代のアテネで、若者たちに熱い刺激を与えたソクラテスは、一方では一部アテネ市民の不興を買い、死刑を宣告されます。裁判では弁明の機会が与えられますが、何とその弁明は信ずるところを語るにまかせ、自ら命を救うことにはなりません。この弁明の様子を師の精神に最も忠実に書き残したのがプラトンです。『パイドン』は、ソクラテスの死の前に親しい弟子たちが集って語らった様子をパイドンが回

プラトン 著  
 岩波書店

推薦者  
 人文社会科学部教員  
 安藤 恵崇

想するという形で書かれています。そこでは、「魂の不死」が論じられ、有名な「イデア論」が登場します。ただし、この書は対話の記録ではなく、プラトンが自らの師から受け継ぎ発展させたものをソクラテスに語らせているのです。最後にソクラテスは、冥界の情景を神話的イメージで蕩々と語り、静かに死へと旅立ちます。弟子たちは涙に暮れ、看守さえも涙を流しました。この一冊で必ずしも全てが解明されるわけではありませんが、二千年以上前の人々の生と死への思索は現代人にも何かを語りかけます。そしてまた、この本のように、涙を誘う文学的哲学書というのも珍しいでしょう。



中央館 D2集密100-299 131.308/3/1  
 医学部分館 2F書架(一般) 131.3/フ

各学部選書委員の先生に  
 選んでいただきました

薦める本



マイコフィリア きのご愛好症  
 ~知られざるキノコの不思議世界~



ユージニア・ボーン 著 (佐藤幸治、田中涼子 翻訳)  
 株式会社パイインターナショナル

推薦者  
 農林海洋科学部教員  
 大谷 慶人

マイコロジーは菌類学と訳され、“マイコ”は“菌”を意味します。菌は音読みでは“キン”、訓読みでは“くさびら”と読み、古来よりキノコを表す言葉です。すなわち、この本の題である“マイコフィリア”とは“キノコ好き”のことを意味します。世の中にはキノコ好きのマイコフィリアとキノコ嫌いのマイコフォビアがいて、民族によっても大きな傾向があります。著者のユージニア・ボーンは平凡な主婦でしたが、食べ物としてのキノコ好きが高じて、キノコの世界にのめり込み、ついにはニューヨーク菌学会の代表にまで上り詰めます。この本はちょっと厚めで、専門的なことも含まれますが、部分的にでも読んでいただき、欧米の人々のキノコに寄せる情熱とキノコの奥深い世界を体験してください。そして、キノコの魅力、能力、地球環境の中での役割と重要性を理解していただき、世の中からマイコフォビアが少しでも減ることを願っています。

物部分館 南関一般 474.85/Mai

# 大型資料の 紹介

昨年度 大型資料費予算で購入した資料です

## 高知パルプ生コン事件資料 全8巻 (聞き語りDVD付) (戦後日本住民運動資料集成10)

すいれん舎



高知パルプ生コン事件とは、高知市江ノ口川に廃液を垂れ流していた高知パルプ工業(高知市旭町3丁目)の工場排水管に、1971年6月9日早朝、市民ら4人が生コンと土嚢を投入した事件である。

工場は操業を停止、翌年閉鎖した。4人のうち2人は威力業務妨害罪で起訴され、罰金5万円の判決を受けた。高知パルプ工業との直接交渉、行政や司法への訴えなど、あ

らゆる合法的な手段を尽くした上での公害企業への実力行使は、全国から注目を浴びた。

事件から45年を経た昨年、事件の貴重資料を集めた資料集成が刊行された。

全8巻に編まれたこの資料は当時の息遣いを偲ばせ、付された解題および当事者へのインタビューを収録したDVDは、事件の通時的な理解を促してくれる。

中央館 A4開架 318.8/Kot/1

推薦者  
地域協働学部  
森 明香

## 昭和の読売新聞 戦前I

読売新聞社メディア戦略局データベース部編



読売新聞の紙面をそのまま収録したDVD資料です。記事を閲覧するだけでなく、キーワード検索をすることもできます。

戦前Iには、大正15年12月から昭和11年12月までの戦前の激動期の記事が収められています。中央館ではこれまでに、明治の読売新聞・大正の読売新聞・昭和の読売新聞戦前II・戦後Iを所蔵しており今回、戦前Iを購入したことにより、読売新聞が創刊された明治7年11月2日から昭和35年12月31日までの記事がすべて検索可能になりました。

中央館A2階フロアの情報検索用パソコンで利用できます。

このほかには、新聞記事の検索は、CD-毎日新聞が中央館A2階フロアの情報検索用パソコンで、朝日新聞記事検索の「聞蔵IIビジュアル」、日本経済新聞など日経



4紙が検索できる「日経テレコン」が学内のネットワークから利用できます。

探したい記事や年代等に合わせて使い分けてください。

推薦者  
図書館

# めでいもり Report

今年も同様のイベントを企画します。ホームページでチェックしてね。

こんなイベント  
やりました♪

## ■ビブリオバトル

書評格闘技、書評によるコミュニケーション! ビブリオバトル四国Aブロック予選会(高知大学会場)が、10月26日メディアの森2Fアクティブラーニングコーナーで開催されました。バトル6名がそれぞれ持ってきた本の魅力について語ってくれました。

チャンプ1名が、11月27日徳島市で行われた四国Aブロック地区決戦に出場しました。惜しくも京都決戦に進むことはできませんでしたが、善戦しました。

今年も開催予定です。興味のある方、図書館へお声かけください。



## ■Scopus利用講習会

Scopusは収録誌数2200誌以上を誇る世界最大の論文DBです。

使いこなせれば怖いものなし? レポートや論文作成に役立つDB「Scopus」のプロ講師による利用講習会を2016年12月7日、8日に各キャンパスで開催しました。

Scopus利用講習会の動画を高知大学moodle(<https://moodle.cc/kochi-u.ac.jp/>)に公開しました。

図書館ホームページリンクからもご利用になれます。学内のみで閲覧可能です。

## ■【JapanKnowledge Lib】講習会「ジャパンナレッジを使ったレポート作成」

10月12日、朝倉キャンパスメディアの森2F教育端末室でプロ講師による講習会を開催しました。約50種類の辞事典、叢書、雑誌が検索できる国内最大級の辞書・事典サイトである

「JKLib」を使ったレポート作成セミナーでは、検索だけでなく発想ツールとしての使い方も紹介され、目からウロコの講習会でした。



## ■ブックハンティング・ブックリクエストウィーク

図書館に置きたい本を利用者自らが選書するイベントです。

ハンティングは、10月19・22日、高知大学生協書籍部・金高堂書店医学部店、金高堂本店に於いて、開催しました。物部分館では10月に集中してリクエストを受け付けるブックリクエストウィークを実施しました。多くの学生さんに参加してもらい、たくさんの資料を選んでももらいました。

各館ハンティングコーナー、リクエストコーナーを設け展示しています。

今年も開催予定です。皆さんの参加をお待ちしています。

## ■「記念展示」紺碧の空に消えたいのち ～木村久夫没後70年記念展示～

旧制高知高校(高知大学前身)を卒業し京都大学から学徒出陣、戦犯として処刑された木村久夫氏の没後70年を記念して展示を、10月17日～11月2日高知大学メディアの森1階で行いました。



## ■リユースセール

中央館  
\* 医学部分館

捨ててしまうのはもったいない!  
10月28～30日の3日間中央館で、図書館で不用となった約6000冊の書籍、雑誌の販売を行いました。毎年学祭の時期に合わせて行われ、良書が廉価で手に入るこの機会を知る方も増えて楽しみにされているようです。20名ほど開場待ちされている方も見られました。

また、医学部分館でも12月7～9日の3日間1階ロビーで販売を行いました。

たくさんのご来場ありがとうございました。

今年も開催予定です。





## ◆図書館利用ガイダンスのお知らせ

図書館では詳しい利用法や便利な利用法などを  
知ってもらうためのガイダンスを行っています。

### ・グループやゼミでの オンデマンドガイダンス

も行っていきますので、お申し込みください。  
新入生は年度始めに開催される図書館ガイダ  
ンスに参加するようにしてください。

## ◆アクセス数が増えます

**聞蔵II 2アクセス、日経BPは利用人数  
無制限になりました!**

人数制限のため利用が競合してご不便をお  
かけしていた聞蔵II(朝日新聞記事検索デー  
タベース)、日経BPが、多くの方に同時に利  
用していただけるようになりました。

## ◆図書館の開館時間

### [中央館]

平 日 8:30~21:00  
土 日 9:00~20:00

### [医学部分館]

平 日 9:00~20:00  
土 曜 9:00~16:30  
日 曜 休館

### [物部分館]

平 日 8:30~20:00  
土 日 10:00~18:00

祝日と年末年始は休館です。  
中央館・物部分館は試験期延長開館を行います。  
臨時休館、延長・短縮開館は随時お知らせし  
ます。ホームページのカレンダーやお知らせで  
確認をしてください。

## ◆データベース講習会

Scopus, JapanKnowledgeなどの  
データベースの上手な利用法の講習会を、プ  
ロ講師を招いて今年度も開催したいと企画申  
中ですので、ぜひご参加ください。  
詳しい日程などは、掲示板や図書館ホームペ  
ジで告知します。

## ◆ゴールデンウィーク休館の お知らせ

2017年4月29日(土)~30日(日)  
2017年5月3日(水)~5月7日(日)

は連続休館となります。  
ご不便をおかけしますが、ご了承願います。

## | 編 | 集 | 後 | 記 |

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。  
高知大学図書館広報誌あうるです。  
大学の図書館は本を借りるだけではありません。紙面で  
紹介したようにレポート作成のお手伝いや、くつろぎの  
空間としても利用できます。  
図書館のことをよく知って、どんどん利用してほしいです。  
まずは、ぜひ一度図書館へ足を運んでください。  
皆さんのお越しとご利用をお待ちしています!



あうる No.17 (2017年4月発行)

[編集・発行]

高知大学学術情報基盤図書館

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

Tel.088-844-8731 Fax.088-844-8161

U R L : <http://www.lib.kochi-u.ac.jp/>

E-mail : [lib@kochi-u.ac.jp](mailto:lib@kochi-u.ac.jp)